

1. 事業の必要性・概要

現在、途上国では経済成長に伴う廃棄物問題が大きな問題となっている。一方で、我が国では時代の要請に応じて循環産業を発展させてきており、先進的な技術・システムを有している。この先進的な我が国循環産業を戦略的に国際展開することは、途上国の求める廃棄物処理・3Rを効率的に進め、世界的な環境負荷低減に貢献するとともに、我が国経済の活性化にもつながる。

具体的には、平成23年度から平成25年度まで実施してきた循環産業の国際展開支援事業の成果を取りまとめ、課題抽出と支援策の改善を行った上で、平成26年度以降の3年間を拡充期として、戦略的に支援を実施していく。さらに、廃棄物の適正処理に関する二国間協力、アジア3R推進フォーラムや2012年2月に米国等の主導により設立された国際パートナーシップである短期寿命気候汚染物質削減のための気候と大気浄化のコアリション（CCAC）などの多国間協力と結びつけるとともに、国内リサイクル産業とも連携した国際資源循環にも資する事業（世界都市鉱山）の掘り起しとも有機的に結びつけることにより、戦略的な支援を実施していく。また、今後途上国が廃棄物最終処分場問題に直面した際の技術支援に向け、容器包装プラスチックのリサイクル技術の高度化や、エコタウン等既存3R施設集積地域の徹底利用ネットワーク構築について戦略的に支援する。

2. 事業計画（業務内容）

- (1) 我が国循環産業海外展開支援基盤整備事業
- (2) 我が国循環産業海外展開事業化促進事業
- (3) 次世代の海外展開を担う循環産業の育成

3. 施策の効果

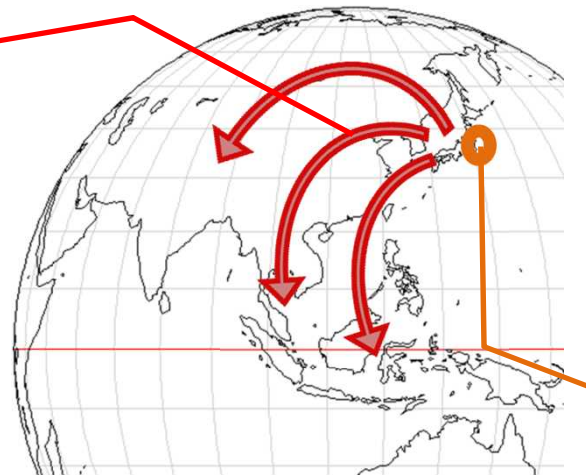
- (1) 循環産業の国際展開を促進することで、廃棄物処理・3Rの実施により、世界的な環境負荷に貢献し、我が国経済の活性化に繋げる。
- (2) 国際的な資源循環の確立を進め、各国の技術水準に応じた適切な役割分担のもと国際的な資源制約の緩和に貢献する。
- (3) 我が国における次世代循環産業の育成を通じ、世界の廃棄物処理、環境保全及び我が国経済の活性化に資する。

我が国循環産業の戦略的国際展開・育成事業

平成27年度予算(案)額 500百万円
(658百万円)

【先行グループ】

- ・既に国際展開に踏み出せる事業者を対象
- ・国際展開の可能性が高い国々におけるFS等を支援



【次世代グループ】

- ・次世代の国際展開を担う循環産業を育成
- ・新たな視点のリサイクルビジネスを支援
- ・未利用循環資源の輸入の活用 等

効果

- ◆適正な廃棄物処理・リサイクルシステムをアジアを中心とした国々に普及
→ 世界規模での環境負荷低減に貢献
- ◆循環産業の活発な国際展開
→ 我が国経済の活性化

支出予定先: 民間団体等

我が国循環産業海外展開 事業化促進事業

- 環境負荷低減効果の大きい国に対する先行グループの国際展開促進
- ① 具体的な海外事業展開や国際資源循環(世界都市鉱山開発)を想定したフィージビリティ調査支援
- ② 現地での協力枠組み構築のための関係者合同WS
- ③ 我が国循環産業の理解促進のための現地関係者への訪日研修

次世代の海外展開を担う 循環産業の育成

- 未利用資源の有効利用技術を有する民間企業が海外展開していけるよう、ビジネスモデルの確立を支援
- ① 容器包装プラスチックのアップサイクルモデル
- ② エコタウン等既存3R施設集積地域の徹底利用ネットワーク構築

我が国循環産業 海外展開支援 基盤整備事業

- (1) 循環産業の国際展開に資する情報収集・発信
- (2) 国、自治体、事業者、研究者等による会合の開催、情報共有の推進
- (3) 現地セミナー、展示会の開催